

5 プロジェクトの展開

(1) プロジェクトの設定とイメージ

大塚上における取組メニューの中から、先導性や特色、必要性の高さなどを考慮し、主要な取組を取り上げ、共有するテーマで組み合わせることによってプロジェクトを構成します。そのことは、計画のめざす方向性と特色をわかりやすく、明快に示すことになります。また、個々それぞれに取り組むことに比べ、限られた人材や資金を有効に活用することになるとともに、効果の範囲を広げたり、住民参加の意欲や選択度を高めたりすることにつながります。

土地利用に関する深いプロジェクト



大塚駅周辺地区活性化 プロジェクト

—大塚駅周辺の土地活用と魅力づくり—
 ◇土地活用(都市的土地区画整理事業)の具体的な検討
 ◇市街化区域編入要望の検討
 ○土地活用の勉強会などの開催
 ○関係権利者の連携
 ◇パークアンドライド(駐車場)への対応
 ◇地区内道路や駐輪場などの整備
 ◇西風新都中央線沿道の魅力づくりと一体になった大塚交差点付近の整備
 →「大塚シンボル通りプロジェクト」と連携など

町内会主体で行つるプロジェクト



暮らしの道づくり プロジェクト

—生活道路の整備とネットワークづくり—
 ◇主要生活道路の整備(拡幅・改良・新設)★
 ○道路整備の優先順位の検討 ○道路の点検 ○地域としての道路整備・交通安全対策の提案(要望)
 □交通安全施設の整備 □交通規制(交通安全対策)の実施 ◇ループバスなど生活交通の強化

協力的な組織で行つるプロジェクト



山・川の再生とホタルの里づくり プロジェクト

—大塚川・幸神川・西の谷川・里山などの活用—
 ◇ホタルの里づくり(幼虫などの放流など)★
 ◇河川の改修・環境保全等★
 □生き物のすめる河川環境づくり(★:ホタルが育つ環境)
 ◇生き物観察会などの開催
 ◇河川の清掃美化(美しい川づくり) など

大塚シンボル通りづくり プロジェクト

—西風新都中央線と沿道の魅力づくり・土地活用—
 ◇沿道の土地活用(都市的土地区画整理事業)の検討
 ◇印象的な街路樹、道路等の緑化・修景
 ◇屋外広告物などのルールづくり
 ◇沿道への芸術作品の設置
 ◇サンフレッシュを生かした通りづくり(紫の花、手作りの紫の旗の取り付け、オブジェの設置など)
 ◇「道の駅」のような場の確保・整備
 合わせて行うソフト的な取組
 ・アートの取組(竹のオブジェなど)
 ・農地への景観作物の植え付け(紫の花…上記、レンゲなど)
 ・歩道や沿道での花づくり など

農と交流の里づくり プロジェクト

—大塚上の農地の活用と安心・安全の食づくり—
 ○市民菜園等の検討★
 ○菜園付き住宅等の検討
 ○レンゲの里づくり—おおつか フラワー・ビレッジ プロジェクト
 ◇農地の活用、耕作放棄地対策
 ◇道の駅などの場の確保
 ○農家レストラン
 合わせて行うソフト的な取組
 ・農作物やその加工品(特産品)づくり
 ・“市”の開催(広域公園の広場・駐車場)
 ・大塚バザール(仮称):沼田や広域的な広がり
 ・郷土料理、スローフードづくり
 ○空家や古家の活用・再生 など

大学との連携・安全・福祉推進 プロジェクト

—大学との連携、安全・安心で生きがいのもてる地域づくり—
 ○自主防災組織の充実 ○生きがいづくり活動の実施 ○子ども・高齢者の見守り
 ◇広島市立大学・広島修道大学と地域の連携
 ◇防犯灯の設置・維持管理 ◇下水道の整備の促進

かぐや姫 アーツ・アンド・クラフト プロジェクト

—竹のアート・ものづくり
 “アーツ・アンド・クラフト”のまち・大塚—
 ○竹の特産品づくり(竹炭や竹細工など)や、食との組合せなど
 ◇竹のアートイベント(かぐや姫プロジェクトなど)
 ◇竹をはじめ地域の素材・文化を生かしたものづくり(生きがい、交流、展示・発表、販売) など

大塚物語・探訪 プロジェクト

—大塚の歴史・地域資源の掘り起こしと活用—
 ○歴史的・文化的資源の保存・活用★
 (既存の神社を活用した鎮守の森づくりなど)
 ○◇大塚地域誌の作成 ○歴史文化の聞き取り・記録
 ○◇案内表示板の設置 ○探訪イベントの開催
 ◇アストラムラインの橋脚を利用して壁画の作成 など

★印は土地利用構想において「先導的な個別の取組」と位置付けたもの

○メニュー: (主として)地元

◇メニュー: 地元と行政等(協働)

□メニュー: (主として)行政等

※いざれの場合も連携・協力が大切

※スローフード

効率やスピードを重視した食や、それからくる生活への反省及び「ファーストフード」への対立概念・活動としてイタリアでスタートした取組。日本でも、各地で郷土食や地域の食材の重視、地産地消、日本酒の再評価など、スローフードにかかわる取り組みがなされている。

※グリーン・ツーリズム

農山漁村地域において休暇を過ごすことによって、自然、文化、人々との交流を楽しむ旅のこと。

※アーツ・アンド・クラフト

アーツとは芸術・技術、クラフトとは工芸・技能といった意味です。芸術と工芸の融合によって、工芸品などの付加価値を高めるとともに、もの作り手と品物と、それを使う人々との間に親密な関係が生まれることも期待できます。